

防災関連単元一覧表〔小学校・学年別〕 〈災害や防災を直接的に扱っている単元には★を付し、指導例を掲載した単元は丸ゴシック体で記載した。〉

【1年生】 I 【学よ】 II 【考え・動く】 III 【実現・貢献】

教科	出版社	単元名( )はページ数	防災学習へのヒント	柱
生活	東京書籍	がっこうだいすき(上:2~22)	防災の視点を持って校内や学校のまわりを見学する。	I III
	大日本図書	わたしのがっこうきょうどんごころ(上:10~19)	防災の視点を持って校内や学校のまわりを見学する。	I III
	啓林館	がっこうとともだち(上:12~27)	防災の視点を持って校内や学校のまわりを見学する。	I III

【2年生】

教科	出版社	単元名( )はページ数	防災学習へのヒント	柱
国語 生活	光村図書	ようすをあらわすことば(下:74~77)	雨の降り方について知る。	I
	東京書籍	どきどきわくわくまちなけん(下:21~32)	防災に関する施設や人に着目して学区や地域を調査する。	I III
		みんなであつちまちなけん(下:57~68)	防災に関する施設や人に着目して学区や地域を調査する。	I III
		もつとなかよいまちなけん(下:69~76)	防災に関する施設や人に着目して学区や地域を調査する。	I III
		つたわる広がるわたしの生活(下:77~90)	防災について調べたことなどを友達や地域に発信する。	I III
	大日本図書	春の町ではっけん(下:22~29)	防災に関する施設や人に着目して学区や地域を調査する。【指導例①】	I II III
		わたしの町はっけん(下:52~75)	防災に関する施設や人に着目して学区や地域を調査する。【指導例②】	I II III
図工	啓林館	レッツゴー町たんけん(下:20~35)	防災に関する施設や人に着目して学区や地域を調査する。	I III
		もつと行きたい町たんけん(下:62~77)	防災に関する施設や人に着目して学区や地域を調査する。	I III
		つたえ合おう町のすてき(下:78~85)	防災について調べたことなどを友達や地域に発信する。	I III
	日本文教	しんぶんしとなかよし(16~17)	新聞紙を使って防災グッズを作る。	II
	だんだん だんボール(36~37)	段ボールを使って防災グッズを作る。	II	

【3年生】

教科	出版社	単元名( )はページ数	防災学習へのヒント	柱
国語	光村図書	気になる記号(上:54~59)	避難所、避難場所、災害種別の記号について考える。	III
	東京書籍	インタビュをしてメモを取ろう(上:72~75)	防災をテーマに実施可能	III
		調べて書こう、わたしのレポート(上:76~81)	防災をテーマに実施可能	III
		人をつつむ形(下:96~107)	世界の家の造りと自然条件との関わりを知る。	I
		町について調べてしようかいしよう(下:110~117)	防災をテーマに実施可能	III
社会	東京書籍	理由が分かるように書こう(下:118~121)	防災をテーマに実施可能	III
		学校のまわり(上:4~19)	防災の視点から自分たちが住む町の様子を調べる。【指導例①】	I II
理科		市の様子(上:20~41)	防災の視点から自分たちが住む市の様子を調べる。	I
	日本文教	わたしたちのまちのようす(上:4~21)	防災の視点から自分たちが住む町の様子を調べる。	I III
		わたしたちの市のようす(上:22~47)	防災の視点から自分たちが住む市の様子を調べる。	I
	東京書籍	太陽の光を調べよう(82~86)	太陽の光を集めると、ものを温めることができることを知る。	I
	大日本図書	光をあてたところの明るさ(91~97)	かがみを使って光を集めるとどうなるか学習する。【指導例②】	I II
音楽	教育出版	光とかがみ(102~104)	日光の明るさ、温かさを調べる。	I
		作って遊ぼう(164~169)	かいて電うをつくろ。	I II
	教育芸術	春の小川(10~11)	身近な自然の美しさを感じ、大切に育てる。	I III
		茶つみ(14~15)	季節の変化を感じる気持ちを育てる。	I III
		うさぎ(28~29)	春から伝わる歌について知り、季節を感じる気持ちを育てる。	I III
		ふじ山(36~37)	自然に対する畏敬の念を感じる気持ちを育てる。	I III
教育出版		帰りの道(57)	自分が生まれ育った地域や自然への愛着、心の絆を育てる。	III
		郷土の音楽(68~69)	日本各地や自分の地域に昔から大切に伝えられている郷土音楽を知り、郷土を愛し大切にすることを育てる。	I III
		小さな世界(3)	人と人が手をとりあってつなげる気持ちを育てる。	III
		春の小川(4~5)	身近な自然の美しさを感じ、大切に育てる。	I III

		茶つみ(12～13) うさぎ(26～27) ふじ山(40～43) ありがとうの花(59) ふんわり ふわふわ (14～15)		季節の変化を感じる気持ち育てる。 昔から伝わる歌について知り、季節を感じる気持ち育てる。 自然に対する畏敬の念を感じる気持ち育てる。 感謝の気持ち育てる。 風の力を学ぶ。	I III I III I III I
図工	日本文教				
<b>【4年生】</b>					
教科	出版社	単元名( )はページ数	防災学習へのヒント	柱	
国語	光村図書	よりよい話し合いをしよう(上.34～39) 新聞を作ろう(上.54～63) 自分の考えをつたえるには(上.84～88) 聞き取りメモの工夫(下.88～91) わたしの研究レポート(下.94～101)	防災活動について話し合いをする。 防災新聞を作る。 「クロスロード」をヒントに、災害時の行動について話し合う。 被災者から話を聞き取り、記事にまとめる。 過去に地域で起こった災害について調べる。	III III III III III	
	東京書籍	<b>みんなで新聞を作ろう(上.70～75)</b> わたしの考えたこと(上.110～115) 色さいとくらし(上.126～131) クラスで話し合おう(下.42～48)	<b>防災をテーマに実施可能【指導例①】</b> 防災をテーマに実施可能 安全関連施設・設備の色づかいから防災に触れる。 防災をテーマに実施可能	<b>II III</b> III III III	
社会	東京書籍	目的や形式に合わせて書こう(下.124～128) ★火事からくらしを守る(下.4～19) ★地震からくらしを守る(下.20～33) ★風水害からくらしを守る(下.34～37)	防災をテーマに実施可能 地域の火災対策について学ぶ。 地域の防災・減災について総合的に学ぶ。 地域の風水害対策について学ぶ。	III I III I	
地図	日本文教	★地しんにそなえて(下.94～103) 地いきのはってんにつくした人々(下.104～119)	地震が起きた際の人の動きや地域に住む一員としてでできることを考える。 浜口悟陵の業績や生き方を学ぶことを通して防災の在り方を考える。	I III I III	
	帝国書院	近畿地方(27) 中部地方(34) 関東地方(41)	神戸市付近のようす-災害へのそなえ- 洪水へのそなえ-濃尾平野の輪中- 台地の洪水へのそなえ	I I I	
	東京書籍	★地震・火山の災害と防災(82)	災害を防ぐ工夫や防災マップづくり	I	
算数	高林館	★日本の自然災害(89～91)	地震・火山噴火・洪水・土砂災害・雪害等の概観	I	
理科	東京書籍	<b>面積(2～12)</b> 空気のあたたまり方(153～155)	<b>避難所の面積を計算し、何人まで生活できるか考える。【指導例④】</b> 空気はどのようにあたたまるのだろうか。	<b>II III</b> I II	
	大日本図書	<b>水と空気のあたたまり方(120～125)</b>	<b>線香のけむりを使って空気のあたたまり方を学ぶ。【指導例⑧】</b>	<b>I II</b>	
	教育出版	電気のはたらき(59) 電気のはたらき(127～131) まきばの朝(18～19)	電気のはたらきを知る。 空気はどのような順にあたたまるのだろうか。 身近な自然の美しさを感じる気持ち育てる。	I II I II I III	
音楽	教育芸術	とんび(26～27) もみじ(34～35) さくらさくら(50～51) いつだって！(60～61) チャレンジ！(62)	自然の生き物に親しみをもちつ気持ち育てる。 自然の美しさ、季節を感じる気持ち育てる。 歌詞の意味を知り、自然の美しさを感じる気持ち育てる。 助け合いの気持ちを育てる。	I III I III I III I III III	
	教育出版	はじめの一步(5) さくらさくら(8～10) さくらさくら(11) まきばの朝(22～23) とんび(28～29) もみじ(32～35) 日本のお祭りをたずねて(36～37) 沖永良部の子もり歌(56～57)	困難にくじけず、前向きにがんばる気持ちを育てる。 未来に向かって力強く歩み出す気持ちを育てる。 歌詞の意味を知り、自然の美しさを感じる気持ち育てる。 自然を大切に思う気持ちを育てる。 身近な自然の美しさを感じる気持ち育てる。 自然の生き物に親しみをもちつ気持ち育てる。 自然の美しさ、季節を感じる気持ち育てる。 昔から伝えられている郷土音楽を調べ、郷土を愛し大切に思う気持ちを育てる。 歌詞の内容を理解し、育ててくれた人を大切に思う気持ちを育てる。	III III I III I III I III I III III III	

【5年生】

教科	出版社	単元名( )はページ数	防災学習へのヒント	柱
国語	光村図書	明日をつくるわたしたち (104～109)	防災に関する地域との連携について考える。	III
		天気を予想する(138～145)	気象情報を利用して自分の身を守ることを考える。	I II
		百年後のふるさとを守る(158～167)	「船むらの火」から防災を学ぶ。	I III
		ニュース番組作りの現場から(250～255)	ニュース番組作りを通して防災意識について考える。	I III
		一つの言葉から(26～29)	防災をテーマに実施可能	III
		新聞記事を読み比べよう(66～73)	防災に関する記事を取り上げ教材化する。	III
		立場を決めて討論しよう(76～82)	防災をテーマに実施可能	III
		資料を生かして考えたことを書こう(98～103)	防災をテーマに実施可能	III
		<b>情報産業とわたしたちのくらし(下60～75)</b>	<b>東日本大震災を事例にマスメディアの働きについて理解する。【指導例③】</b>	<b>II III</b>
		<b>社会を変える情報 防災と情報化(下90～91)</b>	<b>情報ネットワークを活用した防災の取組を捉える。【指導例③】</b>	<b>II III</b>
社会	日本文教	低地に住む岐阜県海津市の人々のくらし(上: 28～35)	水害に備えるまちづくりについて学ぶ。	I
		★災害時の情報はたらきと発信(下72～73)	災害時における情報メディアの活用について話し合う。	I
		★自然災害から人々を守る(下98～115)	日本の自然災害の特徴や被害について調べ、防災・減災の在り方を考える。	I III
		近畿地方(27)	神戸市付近のようす-災害へのそなえ-	I
		中部地方(34)	洪水へのそなえ-濃尾平野の輪中-	I
		関東地方(41)	台地の洪水へのそなえ	I
		★地震・火山の災害と防災(82)	災害を防ぐ工夫や防災マップづくり	I
		★日本の自然災害(89～91)	地震・火山噴火・洪水・土砂災害・雪害等の概観	I
		面積(118～133)	避難所や避難場所の面積の計算方法を考える。	I
		単位数あたりの大きさ(146～148)	避難所での密度と生活について触れる。	I III
算数	東京書籍 啓林館	百分率(174～175)	地震の発生確率や様々な気象情報について触れる。	I II
		★台風の予想(10～17)	天気予報と気象情報について学ぶ。	I II
		★台風と気候の変化(62～69)	台風の動きとその災害について学ぶ。	I III
		★流れる水のはたらき(77～82)	流れる場所によって川の様子が違うことを学ぶ。	I
		★わたしたちのくらしと災害(83～89)	水害から命を守るためにできることを考える。	I II
		★台風と気候の変化(84～91)	台風の被害とそれをふせぐ工夫を学ぶ。	I III
		★流れる水と変化する土地(104～107)	川の水量と災害を学ぶ。	I III
		★川とわたしたちの生活(108～111)	洪水に備える工夫を学ぶ。	I III
		★雲と天気(12～17)	天気が変わるときの、空の様子の変化を学習しよう。	I III
		★台風接近(88～97)	台風の動きと台風が接近した地域の天気を学習しよう。	I II III
理科	大日本図書	★天気の変化(98～105)	日本付近の雲の動きと天気の変化を学習しよう。	I II
		流れる水のはたらき(106～107)	川のはたらきについて学習しよう。	I
		★川の水量が増えるとき(120～123)	雨のふり方と水量について学習しよう。	I II
		★川と災害(124～131)	自分の住んでいる地いきの防さいの工夫を学ぶ。	I III
		ミニ気象ずかん(188～195)	日本の四季の気候について学ぶ。	I II
		Believe(6～7)	人に対するやさしさや、互いに助け合う心の大切さを育てる。	III
		すてきな一歩(8～9)	人とのつながりの大切さ、思いやりの気持ちを育てる。	III
		こいのぼり(P10～11)	こいのぼりを立てて習わしの由来を知り、習わしに込められた思いを理解し、大切に伝えていこうとする気持ちを育てる。	I III
		冬げしき(36～37)	歌詞の意味を知り、美しい日本の風景を歌詞から思い浮かべる。時間や場所で変化する情景を思い浮かべる。	I III
		スキーの歌(38～39)	季節を楽しむ気持ちを育てる。	I III
子もり歌(42～43)	昔から歌い継がれてきた日本の旋律の美しさを味わう。	I III		
音楽	教育芸術			



算数	啓林館	速さ(118~125)	津波の到達時間、逃げる速さ、高台までの距離等から、避難行動について考える るきっかけとする。【指導例⑥】	I II
理科	東京書籍	算数アスレチック(152)	台風が進む速さに関する問題について考える。	I
		みらいへのつばさ「備蓄計画」(186~187)	食料備蓄について考える。【指導例⑦】	I II III
		割合を使って(190)	どこまで走れば津波から逃れられるかを計算する。	I II
		地層ができるしくみ(113~117)	地層がどのようにできているかを学ぶ。	I
		★地震や火山の噴火と大地の変化(118~123)	これまでの起きた地震や火山の記録を調べる。	I
		★私たちのくらしと災害(124~131)	過去の災害に学ぶ。	I III
		てこのはたらき(132~141)	てこを使って重いものを持ち上げる。	II
		地層のつき方(126~128)	土地のつき方を学ぶ。	I
		★火山活動や地震による土地の変化(129~137)	火山活動や地震による被害を学ぶ。	I III
		てこのはたらき(138~141)	てこのはたらきを学ぼう。	II
音楽	教育出版	土地のつくりと変化(86~99)	地層について学ぶ。	I
		★火山や地しんと土地の変化(102~111)	火山や地しんによる土地の変化を調べよう。	I
		★地しんや火山と災害(112~118)	ハザードマップについて学ぶ。	I II III
		おぼろ月夜(10~11)	歌詞の意味を知り、情景を思い浮かべる。	I III
		われは海の子(18~19)	海へのあこがれと、海とともに生きていく気持ちを育てる。	I III
		ふるさと(38~39)	歌詞を理解し、ふるさととの自然やともに暮らした人々を思う気持ちを育てる。	I III
		越天楽今様(40~41)	日本の伝統音楽を大切に思う気持ちを育てる。	I III
		あすという日が(56~57)	希望をもって生きる気持ちを育てる。	III
		この星に生まれて(58~59)	夢をかなえようとする気持ちを育てる。	III
		おぼろ月夜(8~11)	歌詞の意味を知り、情景を思い浮かべる。	I III
図工	日本文教	語りあおう(20~21)	心のつながり、共に生きていこうとする気持ちを育てる。	III
		われは海の子(22~25)	海へのあこがれと、海とともに生きていく気持ちを育てる。	I III
		明日を信じて(30~31)	人と人とのつながりを大切に生きる気持ちを育てる。	III
		越天楽今様(36~37)	日本の伝統音楽を大切に思う気持ちを育てる。	I III
		ふるさと(40~41)	ふるさととの自然やともに暮らした人々を大切に思う気持ちを味わう。	I III
		U&I(ユニアンドアイ)(52~53)	人と人とのつながりを大切に生きる気持ちを育てる。	III
		すてきな友達(57)	「なかまがいればつらくない」仲間とともに生きる素晴らしさ	III
		花は咲く(60~61)	歌がつくられた背景を知り、絆や故郷を思う気持ちなどを育てる。【指導例⑧】	III
		音楽のおくりもの(69)	心と心をつなぐ素晴らしさを感じる気持ちを育てる。	III
		風神雷神図屏風(2~3)	自然について考える。	I
家庭	開隆堂	風神雷神図屏風(2~3)	自然について考える。	I
		動きをとらえて形を見つけて(10~11)	風や水の動きについて理解する。	I
		水の流れるように(12~13)	水の流れるについて理解する。	I
		伝わる つながる(50~51)	避難場所の表示について考える。	II
		流れる風をつかまえて(23)	風の力を学ぶ。	I
		風神雷神図屏風(32~33)	自然について考える。	I
		夏をすずしくさわやかに(72~81)	夏の避難生活時の対応や家族防災会議について触れる。	I II
		思いを形に生活に役立つ布製品(82~89)	防災関連の布製品を製作する。【指導例⑨】	III
		冬を明るく暖かく(102~107)	冬の避難生活時の対応や暖房器具の危険について考える。	I II
		あなたは家庭や地域の宝物(108~113)	「共助」について考えるきっかけとする。	III
開隆堂	開隆堂	暑い季節を快適に(78~85)	夏の避難生活時の対応について考える。	I II
		楽しくソーイング(88~95)	防災関連の布製品を製作する。	I II
		共に生きる生活(104~108)	「共助」について考えるきっかけとする。	III